

事前受付のご質問 Part1

1. 規格改正について
2. 環境側面について



1. 規格改正について

(1) 規格の何が変わるのかが分からない状態であるため、社内の対応をどうすればよいか。

(2) 規格改正後は、どのタイミングの審査から新規格の対象になるのか。



2. 環境側面について-1

- (1) 事業部門における有益な側面抽出と活動内容とはどのようなものが考えられるか。
- (2) 4.3.1 環境側面の中の「組織が影響を及ぼすことができる環境側面」とあるが、どの範囲までのことを規格では言っているか知りたい。



2. 環境側面について-2

(3) サービス業における著しい環境側面の抽出方法について（他社の具体的な事例）を教えて欲しい。

(4) 環境影響評価時の評価点数が数値化しにくい場合の評価点のつけ方はどのようにすれば良いか。



事前質問 1 補足資料



著しい環境側面の例

整備販売業

	設備・作業 (直接的活動)	☆業務改善 (間接的活動)	☆製品 サービス
管理 できる 自ら管理できる 活動製品サー ビスに伴う環境側 面	<整備活動による> ◆電力の使用 ◆コンプレッサーの 騒音発生 ◆油の漏洩 ◆汚水の排出 ◆廃棄物排出	◆省エネカーの促販 (によるCO ₂ 排出削減) ◆省エネ設備の導入 (によるエネルギーの低 減) ◆受発注業務の電算化 (による紙・エネルギー 削減)	◆点検,整備の充実化 (による排ガスの軽減) ◆リサイクル部品の 利用促進 (による資源の節約) ◆輸送の効率化活動 (によるエネルギーの 低減)
影響を 及ぼす 組織が, 影響を 及ぼす活動製品 サービスに伴う 環境側面	◆場内委託業者への 指導 (例: 給油時の油漏洩) ◆部品供給先や委託 業者への指導 (例: 有害物質の代替化 による環境負荷低減)	◆部品供給先や委託 業者への指導 (例: ダンボールの通い 箱化による廃棄物削減)	◆設計組織への提言 活動 (による資源の節約) ◆ユーザーへの省エネ 運転推進活動 (によるCO ₂ 排出削減)

☆有益と言われるものは、活動そのものを環境側面としている例が多い。

著しい環境側面の考え方（4）

【環境影響評価について】

- 1) 多面的な視点で、網羅された環境側面を、組織が重要or必要と考える著しい環境側面に絞り込む。
- 2) 2種類の評価方法（例：有害な側面&有益な側面）が一般的。
適切な評価方法は、組織によって、変わる場合が多い。



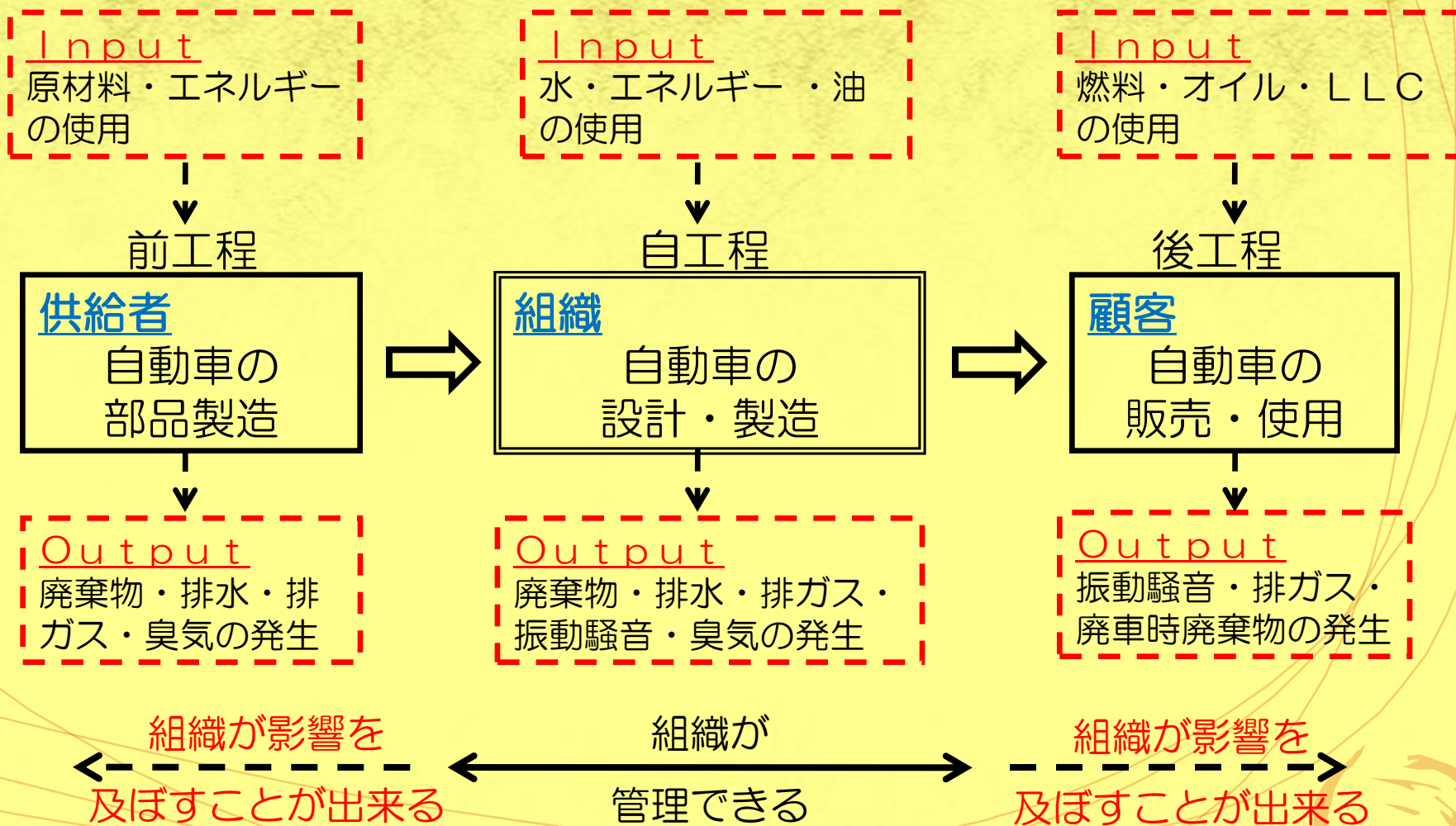
- 1) 評価方法は簡便で再現性のあるものが良い。
- 2) 特定した結果が、納得できるものでなければならない。
- 3) 有害な側面：リスク（環境影響度合、事故の可能性有無、法規制）
有益な側面：効果、必要性

著しい環境側面の例 製造業

	設備・作業 (直接的活動)	☆業務改善 (間接的活動)	☆製品 サービス
管理 できる 自ら管理で できる活動製 品サービス に伴う環境 側面	<生産活動による> ◆電力の使用 ◆コンプレッサーの 騒音発生 ◆油の漏洩 ◆汚水の漏洩 ◆廃棄物排出	◆不良率の低減 (による資源やエネルギーの 低減) ◆省エネ設備の導入 (によるエネルギーの低減) ◆製造工程の簡略化 推進 (によるエネルギーの低減)	◆軽量化の設計 (による燃料の節約) ◆低排ガスの設計 (による排ガスの削減) ◆リサイクル設計 (による廃棄物削減)
影響を 及ぼす 組織が、影 響を及ぼす 活動製品サ ービスに伴う 環境側面	◆場内委託業者への 指導(例：給油時の油 漏洩防止) ◆部品供給先や委託 業者への指導 (例：有害物質の代替 化による環境負荷低 減)	◆部品供給先や委託 業者への指導 (例：ダンボールの通い箱化 による廃棄物削減)	◆輸送の効率化活動 (によるエネルギーの低 減) ◆省エネ運転の推奨P R (によるエネルギーの 低減) 注) 実際の側面はより具 体的な表現が必要

☆本来業務の側面、プラスの側面、間接側面などと表現する場合もある。

- ・ 活動、製品及びサービスに伴うインプット及びアウトプット
- ・ 管理できる環境側面、影響を及ぼすことが出来る環境側面



考え方の具体的事例（1）

本来業務の側面について ← 規格には無い表現

【考え方】 *設備管理、現場作業に直接関わらない設計、企画、営業、生産技術など。

組織の本来的な業務*を、環境の視点で見直すと環境改善の活動に繋がってくる事が多く、環境側面として取上げると、環境経営課題を含めた広がりのあるEMS活動が可能となる。

- 1) 本来業務の例として、エコ設備やエコ製品の開発・販促、品質向上、生産性向上（効率化）、廃棄物削減などがある。
- 2) 本来業務の取上げは、基本的に組織の方針に連動する。別プロジェクトで取組まれている場合は、2重に管理するよりも経営課題とEMSとを上手にドッキングするやり方もある。
- 3) 本来業務のパフォーマンスとして、環境上のメリットを概略定量化しておくが良い。

著しい環境側面の考え方 (3)

【影響を及ぼすことができる環境側面】

一般的には、適用範囲外の委託・供給者などが対象

物流委託

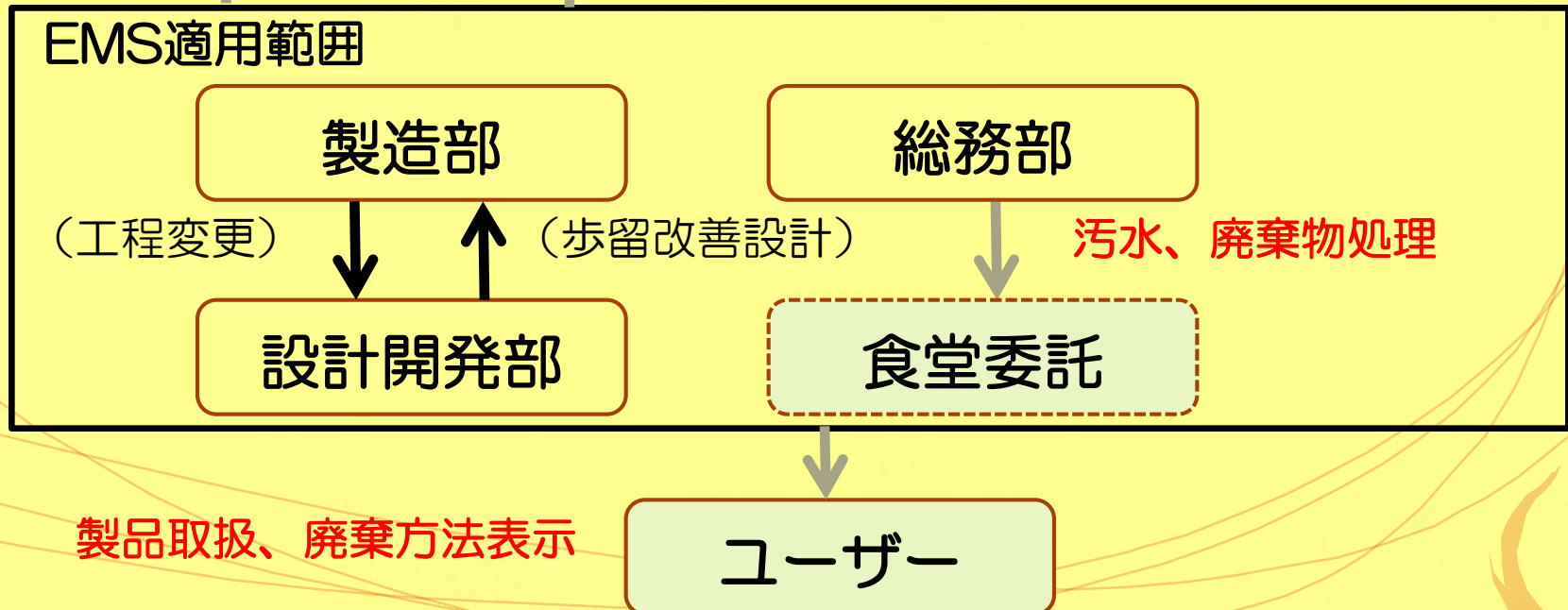
部品供給

工事請負

資材供給・・

輸送方法改善 ↑

↑ 梱包、原材料変更



考え方の具体的事例（3）

影響を及ぼすことができる環境側面について

【考え方】 適用範囲外の委託先、供給者などについても、可能な範囲で「影響を及ぼすことができる環境側面」を特定し、手順・要求などを伝えることが必要である。
側面特定は、自組織の環境維持・改善につながる要素を優先させるのが現実的である。

例えば、

- 1) 木製梱包材変更の要望（廃棄物の削減）
- 2) ユーザーへの製品取扱、廃棄方法表示（企業イメージ向上）
- 3) 物流方法改善による効率化（コスト・CO₂削減）
- 4) グリーン購入（資源保全）